

第12回「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」結果概要

○日時 平成28年2月22日（月）午後2時～午後2時45分

○場所 栃木県総合文化センター 特別会議室（3階）

○内容 1 開会

2 あいさつ（森本委員長）

3 議題

(1) 芳賀・宇都宮 LRT の車両について

(2) 設置要綱の一部改正（部会の設置）について

4 その他

5 閉会

【主な発言の要旨】

3 議題

(1) 芳賀・宇都宮 LRT の車両について … 資料1

(2) 設置要綱の一部改正（部会の設置）について … 資料2

【事務局】

- ・ 資料1 資料2 一括説明

【望月委員】

- ・ 質問と意見を述べたい。
- ・ まず質問だが、資料1の5ページの「6 今後のスケジュール」について伺いたい。来月に車両部会を開催し、平成28年度中に車両の設計と認可の申請を行うため、早い段階で車両メーカーの選定を済ませ、かつデザイン等も決めることになると思うが、どのようなスケジュールで進めていくのか、お聞かせ願いたい。
- ・ また、2点目として車両の選定と関連してくるのだが、資料1 参考3に車両デザインの任意性について記載があり、この部分は、車両の基本的な部分が決まった上での「車両前面部の顔のつくり」という点で、それぞれの路面電車がオリジナリティを出すところになるものである。従って、この芳賀・宇都宮 LRT 全体のデザインの議論と関連する形で車両をどのような顔つきにするか、また、それと同じくらい重要になるのが、カラーリングの色・デザインをどのようにするかということである。そうした点で、車両の安全性に関する議論とデザインに関する議論の2つが出てくると思うが、LRT の車両部会でどこまで議論するか、あるいはデザイン等は、また別の組織を設置するか、現時点での事務局の考えをお聞かせ願いたい。
- ・ もう1点は意見である。これから LRT が開業するまでに関係者の皆さんの関心をどれだけ高めていくかがとても大切になってくる。その際には車両がどのような車両になるか、デザインはどのようになるか、非常に大きな要素になると思う。それを決めていく手続の中で、一般の市民・町民の方の関心を高めていくことを戦略的に進めていくことが重要である。資料1 参考3に記載されているが、富山市においては、この4つの案で人気投票のような

ことをやりながら市民の関心を高めていった。芳賀・宇都宮においても同じようなことをこれから考えていくのだと思う。車両に関する専門的な部分と市民・町民に関心を持ってもらう部分を上手く連携を取りながら進めていただきたい。

【事務局】

- ・ 1点目の今後のスケジュールについては、3月に車両部会を開催し、技術的に検討を深めるべき事項や今後の選定に当たっての留意事項等を整理したいと考えている。その後の部会については、適宜、開催し、検討事項が整理され次第、速やかに車両設計、その後の車両設計の認可申請の手続きを進めていきたいと考えている。当然、その過程においては、どの車両を選定していくかという議論になるので、その点については特に専門の方のご意見を参考にしながら、また、望月委員のご意見にもありました市民・町民にどのように参画いただくかという点も合わせて考えながら、作業に取り組んでいきたいと考えている。
- ・ 2点目の車両のデザインとその他の施設等のマッチング等については、今後、事務局としてはトータルデザインということでLRT事業全体のデザインについて検討していきたいと考えており、現在、その準備を進めているところである。それに関しては車両部会と緊密に連携を図る必要があり、検討委員会等を通じて共有を図っていくものと考えている。

【委員長】

- ・ 事務局の説明では車両部会と連携を図りながらトータルデザインを考えていくことである。トータルデザインに関しては、今後、専門の部会を設けるか、あるいは事務局で議論するか、検討委員会で議論するかは、現時点では未定ということではよろしいか。

【事務局】

- ・ トータルデザインについては専門的な検討を必要とする可能性が高いと考えられるが、その範囲や検討内容については、現在、整理を行っており、今後、どのような形で議論をお願いするかも含めて、もう少しお時間を頂戴できればと考えている。

【委員長】

- ・ 本日ご欠席の岸井委員からのコメントをいただいているのであれば紹介いただきたい。

【事務局】

- ・ 事務局より、岸井委員のご意見を紹介する。
- ・ 「今般、『軌道運送高度化実施計画』を国に提出したが、今後は更に事業化に向けたより詳細な検討が必要になってくる。その意味では検討課題に応じた専門部会を設置し、技術的かつ専門的な検討を行うことは必要不可欠と考える。なお、車両の選定に当たっては、市民を巻き込みながらデザイン等の検討を進めるとともに、車両の導入後における維持管理体制など、メンテナンス性も含め評価すべきである。」

【委員長】

- ・ 岸井委員からのコメントを紹介いただいたが、この他に如何か。

【望月委員】

- ・ 先程、車両に関する説明があったが、全体のシステムについても並行して検討することになる。例えば、これまでの検討委員会で料金収受をどのようにするかという検討があったが、具体的にこれを決めていく中で、その方法によっては車両で設置しなければならないものも出てくると思われる。車両部会の議論と、全体システムに関する議論の内容については、どのように連携を図っていくのか、具体的にどんな体制で進めていく考えなのか。

【事務局】

- ・ 現時点での事務局の考えであるが、これまでの事業化に向けた計画段階から、具体的な作り込みに入る段階へと進んでいくことになるため、望月委員からご指摘のあった全体的なシステムに対してどのように進めていくかについての議論は非常に重いものが出てくるものと認識している。今後の検討を計画的に進めていく上で、全体のシステムに関する検討についても部会を設置するか、検討委員会で議論いただくか、きちんと整理を行った上で議論を深めていきたいと考えている。当然、設置される各部会それぞれの連携については十分に図っていききたいと考えている。

【委員長】

- ・ 関連して私からも意見を申し上げたい。
- ・ 検討委員会と3月に設置する予定の車両部会との関係も含めて、システム設計や停留場のバランス等もあると思う。次回の検討委員会では、そうしたことも踏まえて全体の設計としてどのように進めていくかの概略を示しながら、連携の取り方も明らかにされたい。
- ・ 全体が見えない中で車両だけに特化していくことがないよう、その点は十分に配慮していただきたい。

【事務局】

- ・ 今回は車両の検討が先に進んでいたため、お示しさせていただいたが、委員長のご指摘はごもっともであり、次回の検討委員会でそうした点についても説明させていただければと考えている。

【委員長】

- ・ 車両部会に参画される方にご意見を伺えればと思う。中尾委員は如何か。

【中尾委員】

- ・ いよいよ芳賀・宇都宮の顔になると思われる車両部会に進んでいくことになる。非常に興味があり、これの如何によっては芳賀・宇都宮のLRTが成功するか否かに係わる重要な問題になるものと捉えている。ヨーロッパを始め、アメリカ、日本国内においても「あの電車はストラスブールだ、これは札幌だ」というように、その車両を見れば都市の表情がわかる、顔がわかるものであり、そういったものになるような芳賀・宇都宮LRTの前頭部の仕様になっていかなければと考えている。

これまでの委員長、望月委員のご発言にもあったが、市民・町民が一番関心を持っている部分であるので、如何に皆さんに参画していただくかがポイントになると思う。

【委員長】

- ・ 車両の選定は、まちづくりとも関係の深い事項であると思う。
- ・ 行政委員としてお二方、如何か。

【上野委員】

- ・ これまでの検討を踏まえて、いよいよ実現に向けた車両の選定段階に入ってきたところである。それについては、やはり合意形成が重要であると考え。難しい部分も多々あると思うが、芳賀町・宇都宮市の特性を生かしたデザイン・カラーリング等を上手く選択していければと思うので、皆さんのお知恵を拝借しながら検討を進めていきたい。

【荒川委員】

- ・ 望月委員のご指摘にあったように、検討委員会において全体のシステムをお示しできれば良いと思う。現在は、軌道事業の特許取得に向けた「軌道運送高度化実施計画」の認定申請を行ったところであり、言うなれば全体システムのアウトラインを示させていただいたものである。これからは全体のシステムについて、より詳細な部分を議論すべき段階に進んでいるものと認識している。
- ・ 今回、車両部会を設置し、専門の方のご意見をいただきながら議論を進めていく中で、この部会において、全体のシステムとして考えなければならない部分や将来の拡張性を見据えた部分の検討等に関するご意見が出てくるのだと思う。その点については、もう一度、事務局に投げかけていただき、この検討委員会の中でお諮りし、更に議論を深めていただき、その結果を再度、専門部会にお返しするというやり取りをやらせていただき、議論を深めていきたいと考えている。

【委員長】

- ・ ありがとうございます。その他に如何か。
- ・ 特にご意見等がなければ本日の議題についてお認めいただくということで、皆さんよろしいでしょうか。

【各委員等、了承】

4 その他

【事務局】

- ・ **【次第】**の「4 その他」について、ご連絡する。
- ・ 次回の検討委員会については、3月下旬を予定したいと考えており、詳細については、後日、改めてご案内させていただく。
- ・ 以上で、本日の会議を終了する。

以上